

2024／2025冬季シーズン

バックカントリー、山スキーでの事故

スキーヤー、スノーボーダーの皆様へのお願い

バックカントリー、山スキーはスキー場の管理区域外で自然そのままの雪山を滑ることをいいます。一方、スキー場の立入禁止区域での滑走はバックカントリーではありません。

スキー場の管理区域外の滑走は雪崩を誘発する危険や地形的に危険な箇所があり、遭難や事故などが発生した場合は救助隊の出動要請など、大掛かりな捜索となることがあります。

本書は2024／2025冬季シーズン（令和6年12月～令和7年3月）に、新潟、長野、富山、石川の4県で発生した遭難事故などの概要を取りまとめたものです。

本書と併せて当協会ホームページのトップページに掲載されているバナー「安全のススメ」もご確認いただき、安全なスキー、スノーボードをお楽しみください。

令和 7 年 9 月 2 日

北陸信越山岳観光索道協会

バックカントリー、山スキーでの遭難

No. 1

日 時	令和6年12月22日（日） 16時30分頃
発 生 場 所	新潟県南魚沼市山口 スキー場外
概 要	<p>台湾籍の20代と40代の男性2人が、スキー場のコース外でバックカントリーをしていたところ、場所が分からなくなり、携帯で知人に助けを求め知人がスキー場に連絡し、スキー場から警察に通報があった。</p> <p>その後、警察や消防、スキー場関係者、合わせて約10人で捜索していたところ、20時30分頃コースから500m離れた所で見つかり無事救助された。2人に怪我はなかった。</p>

No. 2

日 時	令和6年12月23日（月） 16時30分頃
発 生 場 所	新潟県南魚沼市山口 スキー場外
概 要	<p>20代男性2人が、スキー場のコース外をスキーとスノーボードで滑走中に沢に引き込まれ身動きが取れなくなり、携帯電話でスキー場と警察に救助を求め、スキー場の関係者5人が捜索したところ19時20分頃無事救助された。</p> <p>2人は知人と合わせて5人で日帰りの予定でスキー場を訪れており、救助を求めた2人だけが自らの意思でコース外滑走をしていた。</p>

No. 3

日 時	令和6年12月30日（月） 11時30分頃
発 生 場 所	長野県野沢温泉村 スキー場管理区域外
概 要	<p>50才と55才の男性スキーヤー2人が、野沢温泉村のスキー場管理区域外の国有林でバックカントリーをしていたところ、50才男性が雪の割れ目に落ち動けなくなり、一緒に滑っていた55才男性が警察に通報し、山岳遭難防止対策協会の隊員や警察など約10人により約4時間後に救助されたが、その後死亡が確認された。</p> <p>事故当時の野沢温泉村の積雪は124cmで平年の1.9倍だった。</p>

No. 4

日 時	令和7年1月4日（土） 16時30分頃
発 生 場 所	新潟県妙高市杉野沢 スキー場外
概 要	50代の男性スキーヤーが友人と3人でスキー場のコース外を滑走していたところ、姿が見えなくなったため、友人がスキー場のパトロール隊に連絡し、その後警察に通報した。 男性は19時30分過ぎに警察とパトロール隊により救助された。怪我はなかった。

No. 5

日 時	令和7年1月6日（月） 15時30分頃
発 生 場 所	長野県小谷村千国 親沢付近
概 要	小谷村の山中でスキーやスノーボードでバックカントリーをしていたイスラエル国籍の20代男性3人が沢で道に迷い行動不能になり、知人を通じて警察に救助要請をした。 翌朝の7時過ぎに長野県警の山岳遭難救助隊など11人が山に入り捜索を行い、およそ3時間後に発見され、13時頃救助隊に付き添われ下山した。 男性らはビバークの装備を携行しておらず、雪洞を掘り身を寄せ合いながら一夜を過ごしてした。

No. 6

日 時	令和7年1月12日（日） 11時20分頃
発 生 場 所	新潟県湯沢町三俣 スキー場外
概 要	友人2人とスキー場のコース外を滑走していた50代の男性スノーボーダーが立ち木に衝突して動けなくなり、自ら110番通報し13時30分頃に県警へりに救助された。 登山届は提出されていなかった。

No. 7

日 時	令和7年1月25日（土） 15時30分頃
発 生 場 所	新潟県南魚沼市八海山
概 要	<p>南魚沼市の八海山で、2人でバックカントリースキーをしていた男性スキーヤー（いずれも50代、男性）から「道に迷ってしまった」と救助を求める110番通報があった。</p> <p>警察と消防は日没と悪天候のため25日の救助は見送り、翌日26日8時30分頃県警へりに救助された。</p> <p>2人は南魚沼市の病院に搬送され、1人が膝に軽傷を負ったが、命に別状はなかった。</p>

No. 8

日 時	令和7年1月26日（日） 13時30分頃
発 生 場 所	新潟県津南町苗場山
概 要	<p>津南町の苗場山の山頂から北東に向かって2kmほどの斜面でバックカントリースキーをしていた50代夫婦が道を間違い稜線から外れ、新雪のため戻るができなくなってしまい「稜線に上がれなくなった」と警察に110番通報があった。</p> <p>2人は17時00分頃救助隊により発見され下山した。怪我はなかった。夫婦は登山届を出し、スキー場からバックカントリースキーをしていた。</p>

No. 9

日 時	令和7年1月26日（日） 14時00分頃
発 生 場 所	長野県北アルプス白馬乗鞍岳天狗原付近
概 要	<p>北アルプス白馬乗鞍岳の天狗原付近でバックカントリースキーをしていた30代の男性スキーヤーが左足を怪我し救助要請した。</p> <p>男性は県警へりに救助され、病院に搬送された。</p>

No. 1 0

日 時	令和7年1月26日（日） 14時00分頃
発 生 場 所	長野県小谷村黒川付近の山中
概 要	小谷村の黒川付近の山中で、10人パーティーでバックカントリーをしていた40代の男性スノーボーダーが木に衝突し左足を骨折。 男性は県警へりに救助され、松本市内の病院に搬送された。

No. 1 1

日 時	令和7年1月27日（月） 11時30分頃
発 生 場 所	長野県野沢温泉村 スキー場管理区域外
概 要	野沢温泉村のスキー場管理区域外の山林、毛無山付近を滑走していたノルウェー国籍の40代の男性スキーヤーが転倒し左足を負傷した。 男性は同じくノルウェー国籍の友人とスキーをしており、友人から「友達が怪我をした」と110番通報があった。 志賀高原地区山岳遭難防止対策協会野沢温泉班隊員が6人体制で出動し、位置情報などを頼りに捜索し15時00分頃に男性を発見、救助した。 男性は長野市内の病院に搬送された。

No. 1 2

日 時	令和7年1月29日（水） 13時00分頃
発 生 場 所	長野県野沢温泉村 スキー場管理区域外
概 要	野沢温泉村のスキー場管理区域外の山林、毛無山付近を仲間と2人で滑走していた30代の女性スノーボーダーが道に迷い行動不能になった。 女性は複数人でスキー場を訪れており、別の仲間を通じ110番に救助要請をした。 志賀高原地区山岳遭難防止対策協会野沢温泉班隊員が11人体制で出動し17時00分頃女性を発見、救助した。怪我はなかった。 当時、現場周辺では雪が降っていて強風だった。

No. 1 3

日 時	令和7年2月1日（土） 7時30分頃
発 生 場 所	長野県山ノ内町志賀高原
概 要	<p>志賀高原でバックカントリーをしていた70代の男性スキーヤーが何らかの原因で遭難。夜になっても家に戻らなかったため、家族が警察に届け出た。</p> <p>その日の夜に警察が捜したところ、志賀高原のスキー場の駐車場で男性の車を発見し、翌日2日9時00分頃から警察とスキー場のパトロール隊合わせて18人でグレンデ周辺などを捜索するが発見できず、翌々日3日10時00分頃県警ヘリが山ノ内町平穏の山中で発見し救助したが、その後死亡が確認された。</p>

No. 1 4

日 時	令和7年2月5日（水） 18時00分頃
発 生 場 所	新潟県南魚沼市山口 スキー場外
概 要	<p>1人でバックカントリースキーをしていた外国籍の男性スキーヤーが道に迷い遭難。宿泊予定の施設の従業員が予定時間になっても男性が宿に来なかったため連絡を取ったところ「道に迷った」と話していたことから警察に通報した。</p> <p>警察と消防が捜索していたが悪天候のため5日は捜索を中断。翌日6日スキー場の第一駐車場から300m進んだ水がない川でうつ伏せの状態で見られているのを発見し、その場で死亡が確認された。</p>

No. 1 5

日 時	令和7年2月9日（日） 時間不明
発 生 場 所	長野県白馬村神城 「地蔵の頭」南東側斜面
概 要	<p>長野県白馬村神城「地蔵の頭」南東側斜面で倒れていたカナダ国籍の40代の男性スノーボーダーを後から滑走してきた別のパーティーが発見して警察に通報し、19時00分頃に県警の山岳遭難救助隊などによって救助された。男性に怪我はなかった。</p>

No. 1 6

日 時	令和7年2月10日（月） 18時30分頃
発 生 場 所	長野県野沢温泉村 スキー場管理区域外
概 要	<p>野沢温泉村のスキー場管理区域外をバックカントリーでスキーをしていた男女2人が迷って行動不能になり、18時30分過ぎに警察に救助要請した。</p> <p>警察は雪洞を掘ってピバークするよう指示し、翌日11日県警山岳救助隊、志賀高原地区山岳遭難防止対策協会野沢温泉班の隊員が搜索し無事救助した。2人に怪我等はなかった。</p>

No. 1 7

日 時	令和7年2月12日（水） 15時30分頃
発 生 場 所	新潟県妙高市杉野沢 スキー場外
概 要	<p>妙高市杉野沢のスキー場で、単独でコースを出たり入ったりしながら滑走していた中国籍の20代の女性スノーボーダーがコースに戻れなくなり、知人らを通じて110番通報した。</p> <p>女性は20時00分頃にスキー場のパトロール隊に救助された。怪我はなかった。</p>

No. 1 8

日 時	令和7年2月14日（金） 14時40分頃
発 生 場 所	長野県野沢温泉村 スキー場管理区域外
概 要	<p>野沢温泉村のスキー場管理区域外をバックカントリーで滑走していたオーストラリア国籍のスノーボーダー2人（いずれも30代、男性）が道に迷い行動不能になり、友人を通じ14時30分頃に警察に救助要請をした。</p> <p>志賀高原地区山岳遭難防止対策協会野沢温泉班の隊員が搜索し19時00分頃に無事救助した。2人に怪我等はなかった。</p>

No. 19

日 時	令和7年2月20日（木） 16時00分頃
発 生 場 所	長野県山ノ内町平穏焼額山
概 要	<p>長野県山ノ内町志賀高原焼額山の山林で、2人でバックカントリーをしていた中国籍の40代の男性スノーボーダーが同行者とはぐれ行方不明になった。</p> <p>同行者とはぐれて連絡が取れなくなったとスキー場のパトロール隊を通じて警察に通報があり、パトロール隊が焼額山の山頂から北東に600mほどの林の中で体の大部分が雪に埋もれた状態で遺体が発見された。</p>

No. 20

日 時	令和7年2月28日（金） 16時00分頃
発 生 場 所	新潟県湯沢町三俣 スキー場外
概 要	<p>新潟県湯沢町三俣のスキー場で、単独でコースを外れ滑走していた中国籍の30代の男性スノーボーダーが遭難した。</p> <p>男性はスキー場外にいる友人を通じ110番通報し、17時00分頃県警へりに救助された。怪我はなかった。</p>

No. 21

日 時	令和7年3月1日（土） 16時00分頃
発 生 場 所	新潟県湯沢町三俣 スキー場外
概 要	<p>新潟県湯沢町三俣のスキー場で、単独でコースを外れ滑走していたアメリカ国籍の30代の男性スノーボーダーが遭難した。</p> <p>男性は自らスキー場のパトロール隊に連絡し、その後110番通報で救助を要請した。</p> <p>通報から約1時間後の17時30分頃に県警へりに救助された。怪我はなかった。</p> <p>同スキー場では前日にも中国籍の男性がコース外で遭難し救助要請をしており、2日連続の救助となった。</p>

No. 2 2

日 時	令和7年3月7日（金） 13時00分頃
発 生 場 所	新潟県南魚沼市山口 スキー場外
概 要	南魚沼市山口のスキー場のコース外を滑走していた40代の男性スノーボーダーが行動不能になった。 男性から「コース外滑走をしていて、抜け出せなくなった」と110番通報があり、15時00分頃スキー場のパトロール隊に救助された。怪我はなかった。

No. 2 3

日 時	令和7年3月8日（土） 13時00分頃
発 生 場 所	新潟県妙高市杉野沢 スキー場外
概 要	オーストラリア国籍の20代の男性スキーヤーは4人で妙高市杉野沢のスキー場で滑走しており、コース外に侵入し滑走していたところ転倒して負傷し自力で動けなくなった。 一緒に滑っていた同行者が警察に通報し、県警とスキー場のパトロール隊が連携し救助した。 男性は左足を骨折している疑いがあることから、上越市内の病院に搬送された。

No. 2 4

日 時	令和7年3月8日（土） 16時00分頃
発 生 場 所	長野県白馬村 北アルプス遠見尾根大遠見山
概 要	長野県白馬村北アルプス遠見尾根の大遠見山でバックカントリースキーをしていたスイス国籍の20代の男性スキーヤーが、雪に埋まり行動不能になり、自ら110番通報し救助要請した。 県警のセンターが状況や場所を確認し、18時00分頃県警へりに救助された。怪我はなかった。

No. 2 5

日 時	令和7年3月11日（火） 14時00分頃
発 生 場 所	新潟県湯沢町土樽 千ノ倉山
概 要	<p>新潟県湯沢町土樽の千ノ倉山で、友人3人とバックカントリースキーをしていた50代の男性スキーヤーが転び足を怪我した。</p> <p>一緒に滑っていた友人が消防に救助要請をし、警察や消防はヘリコプターで救助を試みたが、その日は悪天候のため引き返し、翌日12日7時30分頃県防災ヘリに救助された。</p> <p>男性は右足を怪我したが、命に別状はなかった。友人3人は自力で下山した。</p>

No. 2 6

日 時	令和7年3月20日（木） 12時00分頃
発 生 場 所	長野県野沢温泉村 スキー場管理区域外
概 要	<p>野沢温泉村のスキー場管理区域外のバックカントリーで、4人で滑走していたアメリカ国籍の30代の男性スノーボーダーが転倒し負傷した。</p> <p>知人が救助要請し、志賀高原地区山岳遭難防止対策協会野沢温泉班の隊員が16時00分頃救助した。</p> <p>男性は右足大腿骨頸部骨折の重傷を負った。</p>

No. 2 7

日 時	令和7年3月20日（木） 午後（詳しい時間は不明）
発 生 場 所	新潟県湯沢町三俣 スキー場付近
概 要	<p>湯沢町三俣のスキー場のコース外でバックカントリーをしていた40代の男性スノーボーダーが遭難した。</p> <p>同居する家族が翌日21日に警察に届け出をし、警察がスキー場の駐車場で男性の車を発見。翌々日22日11時00分過ぎに県警ヘリが正規コースから南東に約2km離れた場所で、体をアルミシートで覆った状態の男性を発見し救助した。</p> <p>男性は「濃い霧のため戻れなくなった」と話していた。怪我はなかった。</p>